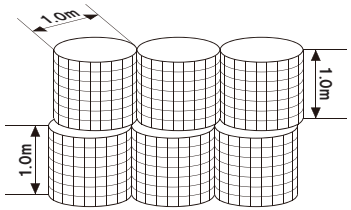
こんな場所はありませんか？

円形コンバック®の特長

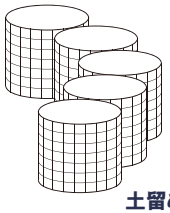
- 円形コンバック®は直径 1m× 高さ 1m。
  護岸や土留め構造物を素早く構築。
- 円形のためR部の施工が容易で特殊型が不要です。
- 充填コンクリートの硬化後は強固な構造体となります。
- 配置の自由度が高く、様々な用途に利用できます。

直線配置



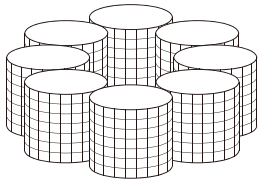
土留め、 護岸

R配置



土留め、 護岸

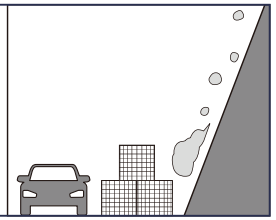
円形配置



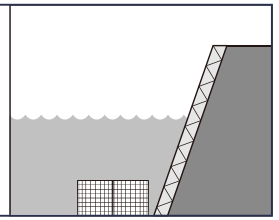
橋脚洗堀対策、他

たとえば こんな 用途に

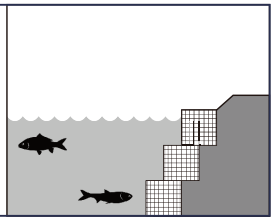
落石・崩土対策



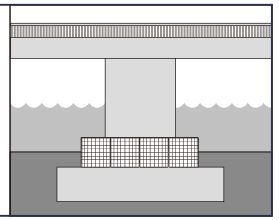
洗堀対策



護岸・土留



橋脚保護



※円形コンバック®は旭化成アドバンス（株）の商標です。

承認番号：AA53D005

AsahiKASEI

コンパクトに保管、災害時の緊急対策から本復旧まで

現場打設大型ブロック積み工法

円形コンバック®

意匠登録
特許取得

備蓄資材としても最適

水中施工可能

本設対応

旭化成アドバンス株式会社
ASAHI KASEI ADVANCE CORPORATION

KOIWA
小岩金網株式会社

現場打設大型ブロック積み工法

円形コンバック®工法とは

円形コンバック®工法は、
円筒形の溶接金網に内袋をセットし、
コンクリートを充填する工法です。※
部材が軽量なので配置や施工が簡単。
充填されたコンクリートの硬化によって
強固な構造体を形成します。

※状況に応じ、石材の充填も可能です（フトンカゴ代替）

施工イメージ

大型土嚢

円形コンバック®

円形コンバック®工法の特長

従　来	**大型土嚢による応急復旧 → 撤去 → 本復旧**
円形コンバック®	**いきなり本復旧**

軽量で人力配置が可能

橋下などの狭小地や、資材運搬困難な林道工事に

水抜きパイプ縫製が可能

水抜きが必要な場合は、塩ビ管挿入部を縫製出荷

ポンプ車での圧送も可能

橋下などの狭小地や、資材運搬困難な林道工事に

現場打設大型ブロック積み工法

円形コンバック®組立て方

部材が少なくて軽量、だから組立てが早い！

① **半円どうしを突き合わせ、接続ピンで固定**

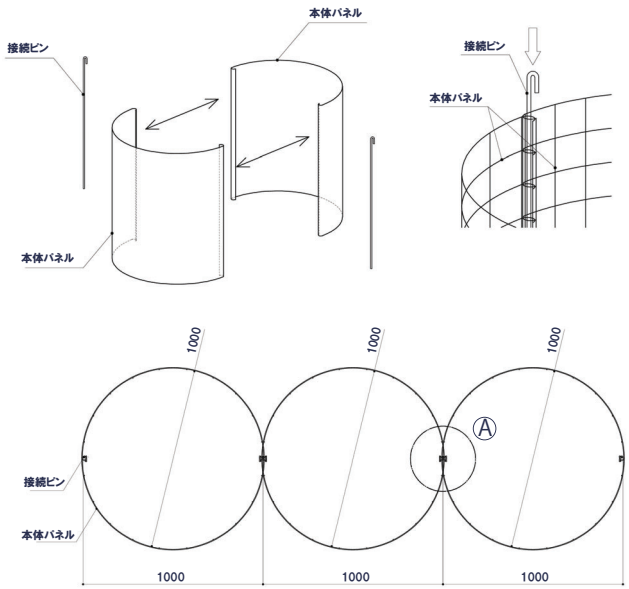
② **内袋をセットし組立て完了！**

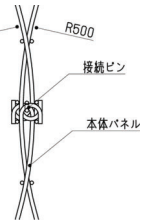
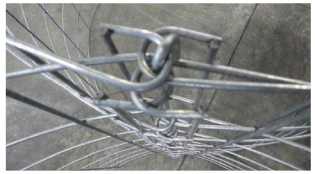
部材表	部材名	仕様	表面処理
	本体パネル	φ4.0×157×143 網目	亜鉛 -10%アルミ合金めっき 付着量 300g/㎡（Aℓ10%以上）
	接続ピン	φ5.0	

※改良・改善のため製品仕様は予告なく変更する場合がございます

イメージ図

円形コンバック®は半円筒形パネル２枚を向かい合わせて接続ピンで固定するだけのシンプルな構造です



接続ピンを差し込み連結する

（Ⓐ 部詳細）